

# 「こどもや子育てにやさしい休み方改革」 の進行管理について

令和7（2025）年9月

こどもや子育てにやさしい休み方改革プロジェクトチーム

# これまでの主な取組（令和6年度）

1

## こどものために休むことが当たり前となる社会全体の機運醸成

- ・ 休み方改革キックオフシンポジウムの開催
- ・ 休み方改革月間の創設（11月）、月間中の公の施設の使用料等の免除



2

## こどもと過ごすための休暇を取得しやすい職場環境づくり

- ・ 休み方改革企業取組コンテストの実施、企業の取組のPR
- ・ 育休取得を推奨する事業者への奨励金の支給



3

## 休暇を家族で一緒に過ごせる仕組みづくり

- ・ 「家族でやま学の日」の創設  
（学校休業日以外でも家族とともに、校外で体験や探求の活動を考え、企画し、実行できる制度）



4

## 家族で山口への愛着を高めながら楽しめるコンテンツの充実

- ・ 平日でも遊べる観光コンテンツの充実
- ・ 親子で参加できる体験教室等の開催
- ・ 休み方改革月間中の公の施設の使用料等の免除（再掲）



# 取組の進捗状況

○第3期「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた3つの指標により進行管理

▶ 一部指標について、次回調査は令和8年度に実施予定

|              | 基準値 (R4) |   | 目標値 (R9) |
|--------------|----------|---|----------|
| 1 男性の育児休業取得率 | 31.0%    | ⇒ | 64.0%    |
| 2 民間企業の年休取得率 | 67.6%    | ⇒ | 70.6%    |
| 3 年間総実労働時間   | 1,676時間  | ⇒ | 1,630時間  |

▶ 毎年度の進捗状況は、以下の参考指標により把握

|                             | R6.7 | R7.7    |
|-----------------------------|------|---------|
| ①「こどもや子育てにやさしい休み方改革」の認知度    | 19%  | 25%     |
| ②子どもと過ごすための休暇が取得しやすいと思う人の割合 | 47%  | 47%     |
| ③男性が育休を取得しやすい職場だと思う人の割合     | 30%  | 33%     |
| ④やまぐち“とも×いく”応援企業登録数（累計）     | 297件 | 1,097件  |
| ⑤「家族でやま学の日」の取得件数（累計）        | 460件 | 14,658件 |

※①～③：山口県「若者や子育て世代に対する県民実感度調査」、④：県労働政策課調べ、⑤：県教育委員会調べ

## 社会全体の機運醸成 【参考指標①】

<参考>年代別の認知度（男性）

| 区分  | R 6 | R 7   |
|-----|-----|-------|
| 20代 | 11% | 34% ↑ |
| 30代 | 23% | 26% ↗ |
| 40代 | 20% | 19% ↓ |

- ・休み方改革の取組は、**特に若い世代において認知度が向上**しているものの、**社会全体に広まっているとはいえない**状況。
- ・取組の認知度を高め、休暇を取得しやすい雰囲気づくりを社会全体で後押しするため、**子育て支援団体等、多様な主体と協働しながら取組を展開**する必要がある。

## 職場環境づくり 【参考指標②、③、④】

- ・“とも×いく”応援企業登録数は、今年度中に**当初目標数を突破予定**（2030年までに1,180件）であり、男性育休に対する企業の理解は広がっている。
- ・一方で、「男性が育休を取得しやすい職場だと思う人の割合」はあまり増加していないことから、更なる裾野の拡大に加えて、男性が**実際に希望どおりの育休を取得できる環境を整備**していく必要がある。
- ・ライフスタイルや価値観が多様化する中で、育児休業の取得促進だけでなく、**従業員誰もがいきいきと活躍でき、休みやすい環境づくり**を進めることが必要である。

## 仕組みづくり・コンテンツの充実 【参考指標⑤】

- ・「家族でやま学の日」について、昨年6月の制度開始以降の**取得率は14.4%**（公立小・中）となっている。
- ・保護者の休暇に合わせて、本制度が更に積極的に利用されるよう、機運醸成や職場環境づくりに加え、**平日でも家族で学び、楽しめるコンテンツの充実を図る**必要がある。

## 社会全体の機運醸成

### POINT 子育て支援団体等が行う休み方改革の取組への支援

休み方改革の取組を社会全体で広げていくため、やまぐち子ども・子育て応援ファンドの寄附金を活用し、**休み方改革に関連した取組を実施する団体等に対し、その取組に係る費用を助成**  
(助成金額: 20万円以内)

- ▶ 令和7年度は、**15団体に対して助成金の交付を決定**  
取組の実施を通じ、休み方改革を広く周知・広報



#### 取組例

- ・ 平日や休み方改革月間中の親子で参加できる体験教室やイベントの開催  
(自然体験、農業体験、スポーツ・レクリエーション、人形劇の開催 等)
- ・ 共家事・共育児、親子の絆を深める休み方をテーマとした講演会の開催



❖ このほか、部下の仕事と生活の両立を積極的に支援する管理職を表彰する「**やまぐち休み方改革推進イクボス表彰**」を実施するとともに、県民の実体験に基づき、「**共家事・共育児**」の推進に向けた動画を制作するなど、**多様な主体と協働して「休み方改革」を推進**



## POINT 誰もが希望どおりに休みを取得できる環境づくりへの支援

- ・ 共育で時代の働き方・休み方改革に係る  
リーフレットの作成・配布により、育休奨励金や共育で職場環境の整備に活用できる補助金、企業の取組事例を紹介

※ 「**山口県もっと育休奨励金**」支給件数：**118件**  
(R7.7時点、R6からの累計974件)

- ・ 時間や場所にとらわれない多様な働き方のための  
「新しい働き方」導入ワークショップを開催

(6～7月、計3会場、参加者総数：**42社**)

▶ 複数の企業において、新たな休暇制度の導入、業務効率化による休暇取得促進に向けた伴走支援の活用を検討中

### 今後の方向性 (次年度以降に向けた事業再構築の検討)

- ・ 優良企業へのインセンティブ付与等、“とも×いく”応援企業の**先進事例**をより効果的に発信するための**仕組みの創設**
- ・ 業務フォロー体制の構築や時間単位年休、家族と過ごす時間に活用できる法定外休暇の導入等、**柔軟な働き方・休み方を推進するための支援の拡充**

＼リーフレット／



＼1,000件目企業 登録証交付式／



### “とも×いく”応援企業の取組例

- ・ 休暇取得促進のための業務カバー体制の整備
- ・ 時間単位年次有給休暇の付与(年40時間)
- ・ ファミリーサポート休暇+(プラス)の付与(年2日・有給)
- ・ 若手従業員の意見を反映させる仕組みの導入

➤ 女性の産休育休取得+復帰率  
100%(12年間)を達成

POINT 平日でも遊べる観光コンテンツの充実

・ 県内周遊キャンペーン 「山口ふくだるま開運さんぽ」

県内市町と津和野町に設定されたスポットを周遊（全20コース）

→家族で楽しみながら周遊することを意識したスポット、デジタルクーポンを設定



・ アウトドア等体験コンテンツ割引キャンペーン 「やまぐちのアソビ新発見割2025」

県内のアウトドア等体験コンテンツの体験利用料の割引

▶第1期 令和7年 7月1日～ 8月31日 10%割引

▶第2期 令和7年10月1日～12月31日 20%割引

《対象コンテンツ》ダイビング、SUP、ラフティング、サイクリング、トレッキング、釣り、果物狩りなど



・ 古地図を片手に、まちを歩こう。 「やさしいコース」

古地図を片手に城下町や宿場町を散策するガイドツアーにおいて、親子連れでも気軽に歴史ガイドウォークを楽しめる「やさしいコース」を実施



❖このほか、「家族でやま学の日」の取得にもつながるよう、昨年度に引き続き、**休み方改革月間（11月）**には、**子ども連れを対象に一部の公の施設の使用料等を免除**するとともに、**親子で参加できる体験教室やイベントを開催**